

平成30年度事業計画書

2018年7月1日から2019年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業活動方針

横浜市鶴見区内の地域に暮らす子どもたちや大人に対して、子どもと大人が出会えるキッカケづくりを目的に、子どものサードプレイス（居場所）づくりや「生き抜く力」を身につけるための体感・体験・学習に関する事業を行う。

子どもたちに関わる社会課題の解決を目的に横浜市鶴見区内でさまざまな取り組みを実施する。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子ども居場所づくり事業

- ・内 容 こども食堂・学習支援の実施及び左記の活動を行う団体の取り組み支援
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区内
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち
- ・支出見込額 2,572,000円

イ 講演・啓発事業

- ・内 容 子ども居場所、貧困、虐待防止、多文化理解、社会貢献教育等に関する講演会、研修会の実施啓発
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の大人たち
- ・支出見込額 679,000円

ウ 子ども体感・体験・学習イベント

- ・内 容 子どもの職業、自然、文化体験イベントの実施
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区ほか
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち
- ・支出見込額 300,000円

エ 他機関連携事業

- ・内 容 横浜市鶴見区内の子どもの支援拠点施設などの運営受託準備
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 4人

- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち、大人たち
- ・支出見込額 10,000 円

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 鶴見区子ども調査・研究・開発

- ・内 容 横浜市鶴見区内の子ども支援を行っている団体、活動などを調査する
横浜市鶴見区内の子ども支援を行っている団体をネットワーク化し、子どもに関する課題解決のための仕組みを作る
地域貢献の新しい取り組みなどを開発する
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区内
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち、大人たち
- ・支出見込額 850,000 円

イ 鶴見の多文化・多世代の共創拠点づくり

- ・内 容 横浜市鶴見区内の子どもたちや地域の大人たち、文化の理解や多世代の交流が実現する拠点の立ち上げ。
- ・日 時 通年
- ・場 所 横浜市鶴見区
- ・従事者人員 4 人
- ・受益対象者 横浜市鶴見区内の子どもたち、大人たち
- ・支出見込額 300,000 円